

進路支援（就職関係）

ア 学生の就職を支援する組織や体制

本学の進路（就職）支援を担当する委員会は学生委員会（委員長は学生部長）であり、進路支援のための対策、企画等の立案について審議を行っている。学生に対しては、直接、担任教員や学生・進路支援課職員、キャリアカウンセラー等が進路指導を行い、希望する学生には模擬面接等も実施している。また、保護者と学生が家庭においても、卒業後の進路について話し合っている。また、保護者を対象とするガイダンスを実施するとともに、就職等進路に関する講演会等を開催している。また、キャリアカウンセラーが、専門的な知見に基づくアドバイスや模擬面接、応募書類のチェック等支援も行っている。

加えて、求人の幅を広げるためや別のアプローチの観点から、地元のハローワーク等とも連携し、学生の就職支援を実施している。

イ 就職指導行事

2年間の就職指導スケジュールは、次の表の通りである。

表 就職指導スケジュール(予定)

実施月	1 年	2 年
4 月	キャリアデザイン 「・ロ	第 5 回就職ガイダンス 学内応募手続きに関する説明
5 月		学内合同企業説明会
6 月		学内合同企業説明会
7 月		
9 月		<u>その他の取り組み</u>
10 月		○学内での合同・個別企業説明会
11 月		○就職支援講座 ・履歴書対策講座 ・スーツ着こなし講座 ・マナー講座
12 月		○ハローワーク支援
2 月		
3 月		

個別面談
模擬面接
提出書類チェック等
個別指導及び支援

ウ 企業研修

企業研修(インターンシップ)は、企業等での体験を通じて、実際の仕事や職場の状況に触れ、自己の職業適性や職業選択について深く考える契機とするためのものである。地元尼崎市内および近郊の企業に協力を求め、7日間(実日5日間)～14日間(実質10日間)の日程で実施している。なお、学内において事前研修と事後研修を行っている。令和4年度前期(夏季)は7社7名で、後期(春季)は7社12名の学生が参加した。令和5年度前期(夏季)は9社に、23名で後期(春季)は4社7名の学生が参加した。令和5年度までは夏季、春季の休業期間に実施していた。令和6年度の夏季休業期間は18社に、19名の学生が参加した。就職活動の早期化対策として令和6年度から春季休業期間での実施を廃止し、セミナー等を開催してより多くの学生の就職活動活発化に繋がる様に変更した。

エ 就職情報等の提供方法

本学の進路支援は、事務局部門では学生・進路支援課が担当している。進路相談室は、正門近くにある1号館の入口すぐのところに設置されており、登下校時に1号館の前を通る学生にとって、最も立ち寄りやすい場所に位置している。また、同相談室は学生・進路支援課に隣接しており、随時、担当職員への質問および指導が受けられるようになっている。なお、進路相談室に設置されている資料、設備等は次のとおりである。

・求人票および会社パンフレット

求人票および会社のパンフレットは進路相談室に会社ごとにファイリングしており、学生が自由に閲覧できるようにしている。また、求人票および会社パンフレット(一部)は、PDFファイルに変換したものを学内ネットワーク上に置き、本学学生および教職員は、学内のコンピュータより閲覧することができるようになっている。

・書籍

会社四季報、一般常識問題集、面接対策、資格解説等の書籍を備えている。

・情報端末用PC

学生が、インターネットを利用して企業の情報を収集できるよう、ネットワーク接続された2台のコンピュータとデータの印刷用に1台のプリンターを設置している。

・受験報告書

学生が入社試験等を受験した際には、面接方法や質問の内容、筆記試験での出題傾向などの受験報告書を提出してもらい、ファイリングしている。これらの資料は進路相談室で学生とその保護者、教職員は自由に閲覧することができる。また同資料はPDFファイルに変換したものを学内ネットワーク上に置き、本学学生および教職員は、学内のコンピュータより閲覧することができるようになっている。

・就職関連ポスター

進路相談室内外に掲示している。